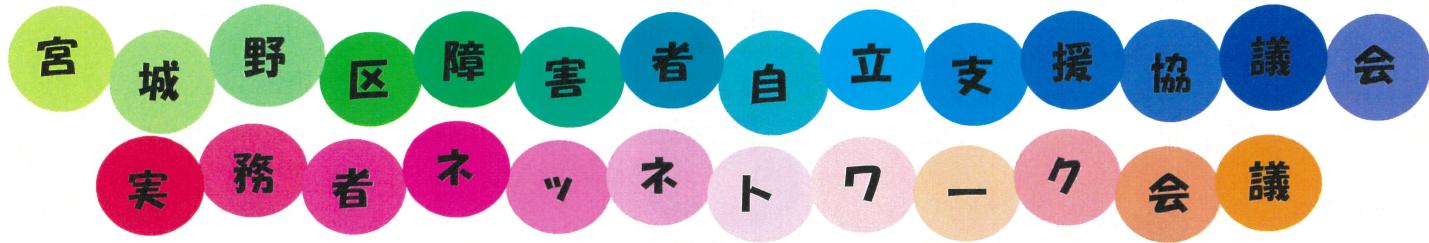


+らふ ニュース 令和2年度 秋号



(編集・発行)令和2年11月
相談支援事業所 宮城野雲母俱楽部+らふ
〒983-0012 仙台市宮城野区出花1丁目3-11
TEL/FAX: 022-254-6757
HP: <http://kilala.biz/>
編集責任者 秋保 明



令和2年10月8日に宮城野区役所6階ホールにて宮城野区障害者自立支援協議会実務者ネットワーク会議が開催されました！

「災害に備えよう 支援体制と連携を考える～福祉避難所編～」をテーマに、①福祉避難所について②東日本大震災における障害者福祉センターの福祉避難所開設状況と運営についてを、①については仙台市健康福祉局総務課総務係長 岸柳氏、②については仙台市宮城野障害者福祉センター所長 鈴木氏よりお話をいただきました。

福祉避難所とは指定避難所などの生活が困難な高齢者や障害者等のための二次的な避難所です。福祉避難所への避難までの基本的な流れは、まずは最寄りの指定避難所（学校など）に避難→そこで生活が困難な方は避難所の市職員へ相談→福祉避難所開設依頼→開設決定後に福祉避難所へ避難となります。対象者は在宅の要援護者で常に介護を必要としない方となっており、常に介護を必要とする方は入所施設で対応（ショートステイなど）する事となっていますが、施設がいっぱい利用できない場合は福祉避難所での受け入れは可能とのことです。

一方で、東日本大震災時に福祉避難所を開設した宮城野障害者福祉センターでは、一人暮らしの認知症の方など、本人の身元確認ができない方や、警察からの要請で道端にうずくまっていた身元不明の方を受け入れた事もあったとの事でした。また、宮城野障害者福祉センター自体も被災し、ライフラインが使えなかったり職員も被災した中の24時間対応であったりと大変な苦労をされたようです。その中でも避難の長期化による機能低下などを防ぐために、体操をはじめ様々なレクリエーションなどを取り入れたとの事で、こうした職員の方々の努力や工夫があり、避難者は無事に自宅や施設などに戻る事ができたとの事でした。

災害はいつ発生するか分からない為、まずは自宅での身の安全や生活を確保するための日頃の備えが大切ですが、災害が発生する前にこういった情報を把握しておき、いざという時の選択肢を一つでも多く増やしておく事が大切だと感じました。また、福祉避難所の対象となる方にも必要な情報を提供できるようにしていきたいと思っています。



知っていますか？「せんだい安心ナビ -災害時いざというとき役立つ本-」

今回宮城野区障害者自立支援協議会では福祉避難所について学びましたが、災害時いざという時のために日頃からの準備が大切で、仙台市では主に精神障害の方や発達障害の方を対象とした“せんだい安心ナビ”を作成してその普及に力を入れています。

この本では「私の避難計画」といった一人ひとりオリジナルの避難計画を作成することができます。避難計画には、緊急時の連絡先・避難場所・緊急時に必要な物などが記入できる他、周りの人に助けを求めるために、自分の特徴(苦手なこと・困ること等)や避難所で周りの人に配慮してほしいことなどが記入できるようになっています。

せんだい安心ナビは、市役所、各区役所で配布されています。当事業でも配布していますので気軽にお声掛けください。



新型コロナウイルスについて知っておいてほしいこと

新型コロナウイルスによる感染症の流行は収束の兆しが見えない日々が続いている。この感染症は「3つの顔」をもっており、これが「負のスパイラル」としてつながることで更なる感染の拡大につながっています。

この負のスパイラルを断ち切ることが感染拡大の収束につながっていきます。



引用元：日本赤十字社
「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
～負のスパイラルを断ち切るために～」

私たちはこれらの感染症を防ぐためにどのような工夫ができるでしょうか？

＜第1の感染症を防ぐために＞

一人ひとりが衛生行動を徹底しましょう。「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」などを自分のためだけではなく周りの人のためにもすることが大切です。

＜第3の感染症を防ぐために＞

不安をあおることは病気に対する偏見や差別を強めます。

皆さんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。この事態に対応している全ての方々をねぎらう気持ちをもちましょう

＜第2の感染症を防ぐために＞

不安や恐れで冷静な対応ができなくなってしまうことがあります。

- ・自分自身を色々な角度から観察するなど自分の変化に気づけるようにしましょう
- ・ウイルスに関する情報から距離を置く時間を作ったり、いつもの生活習慣やペースを保つようにしましょう
- ・悪い情報ばかりに目が向いていませんか？なにかと感染症に結び付けて考えていませんか？普段と変わらない生活を続けることが大切です

投稿コーナー

このコーナーでは利用者の皆様のお声を載せていきます！

【役に立たない日々の結果】そらさん No.12

外出できなくて家にいるしかない年月、私は人目を絶えず気にしていました。家でくつろぎを感じる事はなく、自学や資格勉強をしていました。しかしそれを活かす健康がなければ周りから認められないのも知りました。それでも年月がたち人と交わる時、学んで良かったとの思いが増えてきました。本だけでは足りない事もありますが、小説の会話さえ自分を助けてくれているような気がします。部屋にこもる時間がなければ得られない事でした。

年末年始の相談体制について

- 電話相談のみ・サロンお休み
令和2年12月28日(月)午後～
12月31日(木)、
令和3年1月2日(土)
- 休業
令和3年1月1日(金)、
3日(日)